



平成27年度 町長施政方針

笑顔で幸せあふれる 安全・安心のまちづくり

平成27年町議会定例会3月会議が、2月24日から3月20日までの25日間にわたり行われ、初日に川村光朗町長が町政運営の所信を述べました。

ここでは、町長の平成27年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

私は、東日本大震災後間もなくの平成23年4月に4期目の町長に就任以来、「創造、決断、実行」を基本理念とし、町民誰もが安全・安心で幸せを感じることをできる町の実現を目指し、対話の中から町民の皆さまが何を求めているかを見出しつつ、ご意見を尊重しながら町勢発展のため最大限の努力を傾注し、誠心誠意取り組んでまいりました。

この間、議員各位をはじめ、町民の皆さまから多大なご支援とご協力を賜っており、心から感謝を申し上げます。

町内の情勢を見ますと、大規模プロジェクトである矢幅駅前地区土地区画整理事業は、平成24年から本格的に工事に着手し、平成27年度の完成を目指して順調に進んでおります。

さらに、岩手医科大学の総合移転事

業は、ドクターヘリ基地ヘリポートやマルチメディア教育研究棟が開設され、さらには昨年には安定的な電源供給を行う「エネルギーセンター」が着工され、附属病院の移転新築に向けて事業が展開されております。

また、附属病院の隣接には県の療育センターや盛岡とたん支援学校の移転新築計画もあり、早期完成が期待されるところであります。

一昨年8月9日に大きな被害を受けた煙山ダム上流の岩崎川および山王茶屋前橋については、平成26年度末に工事が完了することになっており、町道南昌山線につきましては、2カ年にわたる復旧工事として、今年秋ごろの完成に向け工事を実施しております。また、岩崎川については、県が芋沢川合流点から県道不動盛岡線までの区間を5カ年事業として整備し、岩

崎川橋はこの事業において、平成27年度末までに工事が完了する計画となっております。

平成26年度は、矢幅駅前地区土地区画整理事業のほか、引き続き町民の健康と福祉を守る事業に予算を重点配分し、事業執行に支障が生じないよう最小限の予算で創意と工夫によって執行してまいりました。

また、財政健全化への取り組みは、将来の財政負担の軽減のため、補償金免除繰上償還の制度を活用し、一般会計および上・下水道事業会計における利率の高い町債および企業債の借り換えを行うなど、公債費の削減に努めております。

第6次矢巾町総合計画後期基本計画の最終年度である平成27年度は、総合計画の基本理念の実現の下、魅力ある町、人が集まる町を目指し、町民に

夢と希望を与える行政運営遂行のため、財政規律を堅持しながら着実に執行してまいります。

平成27年度当初予算の概要について、第6次矢巾町総合計画の施策の大綱である5つの基本施策に沿って、主要な事業に関し具体的な取り組みや課題について、ご説明申し上げます。（左ページを参照）

平成27年度は、第6次矢巾町総合計画後期基本計画の最終年度となることから、これまでの実施計画における課題や達成状況などを検証し、後期基本計画に掲げた事業をさらに精査しながら、確実に実行するよう鋭意取り組んでまいります。

一般会計の中期的な財政見通しについて、歳入面においては、景気回復の地方への波及効果が確たる状況に

平成 27 年度 施政方針の主な施策

①自然・都市と農村が調和するまちづくり

■農業基盤の整備…国の「農地中間管理事業」や「多面的機能支払交付金制度」などの導入を通じて、農地利用の集積・集約化、意欲ある農業者への環境整備を含む支援とあわせ、需要ある作物生産の振興に向けた支援及び規模拡大を図ります。

■都市基盤の整備…矢幅駅前地区について、町の交流拠点となる複合施設の建設、都市計画道路矢幅駅黒川線および駅前広場、街区公園などの整備を進めます。

■幹線道路網の整備…岩手医科大学附属病院の移転計画などと整合性を図りながら、アクセス道路の整備を推進し、徳田橋架け替えの早期完成について、引き続き要望活動を展開します。「矢巾スマートインターチェンジ」の設置については、用地取得と工事に着手し、周辺道路を含めた整備を、関係機関連携のもと実施します。

②地域に根ざした活力ある産業のまちづくり

■農業の振興…「やはば集落営農応援事業」や「農業担い手支援事業」などを実施し、担い手である集落営農組織への支援、認定農業者の所得向上を目指します。また、付加価値の高い作物の導入や複合経営の導入を図り、6次産業化の推進に向けた取り組みを支援します。各集落における「人・農地プラン」策定と、担い手となる中心経営体の育成や農地集積に向けた支援を行います。

■商工業の振興…町商工会や商業団体と連携し、中心市街地のにぎわいと岩手医科大学附属病院開院によるヘルスクエア産業の創出などの調査研究を進めます。また、矢幅駅前地区の新商業集積形成実現化に向けた事業を支援し、活力ある商店街の形成に努めます。もりおか企業ファンドによる起業家の育成を行い、創出された企業による地域経済活性化の推進に努めます。

■企業誘致の推進…スマートインターチェンジ整備による地理的優位性をアピールし、首都圏との交流を通じた企業情報の収集に努め、企業誘致活動に取り組みます。

③安全で快適なやすらぎのあるまちづくり

■生活道路の整備…より地域に身近な町道の整備は、地域への資材支給等を行い、行政と地域が協働で行う「協働の道づくり事業」を推進し、新しい道路整備のあり方

や取り組み手法について検討しながら取り組みます。

■環境保全…新エネルギーの導入を図り、町内2施設に太陽光発電システムの導入設置を進めます。また、昨年に引き続き、住宅用太陽光発電システム設置に対して補助金を交付します。

■し尿処理施設の整備…紫波、稗貫衛生処理組合が平成29年に解散することから、今後は紫波町とともに施設整備に向け計画の策定など連携を深めます。

■暮らしの安全性の向上…常備消防の充実と新たに機能別消防団員を創設し、消防団の活性化および消防団員の確保と安全対策の充実に努めます。

■災害に強いまちの形成…共助組織としての自主防災組織をすべての地域で結成し、地域ぐるみの防災体制と防災意識の高揚を図ります。

④安心で生きがいのある健康長寿のまちづくり

■高齢者福祉の充実…災害時の避難支援体制の整備とあわせて、日頃の見守り支援体制の確立を推進します。認知症施策総合推進事業を活用して医療機関および介護福祉施設との連携、住民と一体となった地域のネットワークを強化し、認知症の方及び介護する家族に対する支援体制の充実を図ります。

■少子化対策・児童育成支援…児童館の登録児童の対象が全学年となることから、保護者が安心して働きながら子育てができるようさらなる支援を行います。さらに、小学生の入院にかかる医療費に対して助成を行い、子育て世代の負担軽減を図ります。

■健康づくり…策定された「健康やはば21（第2次）計画」を踏まえ「がん対策」を始め生活習慣病対策の各種健康づくり施策を着実に推進します。特定健康診査と特定保健指導の受診率向上のため、集団検診や個別健診の時期や会場の拡大を図り、若年層の特定診査の継続、ヘルスアップ事業を活かした重症化予防を促進する仕組みを整えます。

⑤たくましく豊かな心を育てるまちづくり

■2016年岩手国体…本町で開催されるデモンストラーション競技であるスポーツチャンバラのリハーサル会やラジオ体操会などを開催して機運の醸成を図るとともに、各地域で講習会を開催し、更なる普及・促進に努めます。

はないことから、当面は自主財源である町税の大きな伸びが期待できない状況であり、また、依存財源である地方交付税は年々減少していることから、楽観視できない状況になっております。歳出面においては、第6次矢巾町総合計画後期基本計画の最重要事業である矢幅駅前地区土地画整理事業をはじめ、計画された事業に限られた財源を効率よく配分して取り組む必要があります。

現状では、計画どおりの財源確保が確保されているものではなく、財政を圧迫することも想定しており、すが、本町においては、財政の健全化を第一に考え、事業執行にあたっては計画を超える過大な借金に頼ることなく、町民の皆さまに不安や不信感を与えないよう健全経営に努めてまいります。

平成27年度の一般会計予算規模は、対前年度比約1億1千万円の減で、90億4千万円となりますが、緊急性、重要性および費用対効果などを勘案し、創意と工夫により確実に事業を執行するとともに、なお一層の経費削減に努めてまいります。

今後も職員一同、町民憲章に掲げる「和といったわりと希望の町」の実現を目標として、厳しい財政状況の中においても、思いやりの心を重視し、創意と工夫を凝らし、すべての町民の皆さまが笑顔で幸せあふれる町づくりに努めてまいりますので、皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

予算

90億4,330万円

限られた財源を有効に活用

主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

民生費

- ▶ 重度心身障害者医療費助成事業…… 8,183
- ▶ 障害者支援事業…… 3億9,018
- ▶ 障害児福祉事業…… 5,251
- ▶ 児童館運営事業…… 6,520
- ▶ 児童手当給付事業…… 4億4,601
- ▶ 保育委託事業…… 6億3,255
- ▶ 母子福祉医療費助成事業…… 6,505

土木費

- ▶ 道路維持事業…… 3,880
- ▶ 町道改良舗装事業…… 5,010
- ▶ 交通安全施設整備事業…… 6,204
- ▶ 矢巾スマートインター・チェンジ整備事業…… 9,300
- ▶ 町営住宅改修事業…… 3,966

総務費

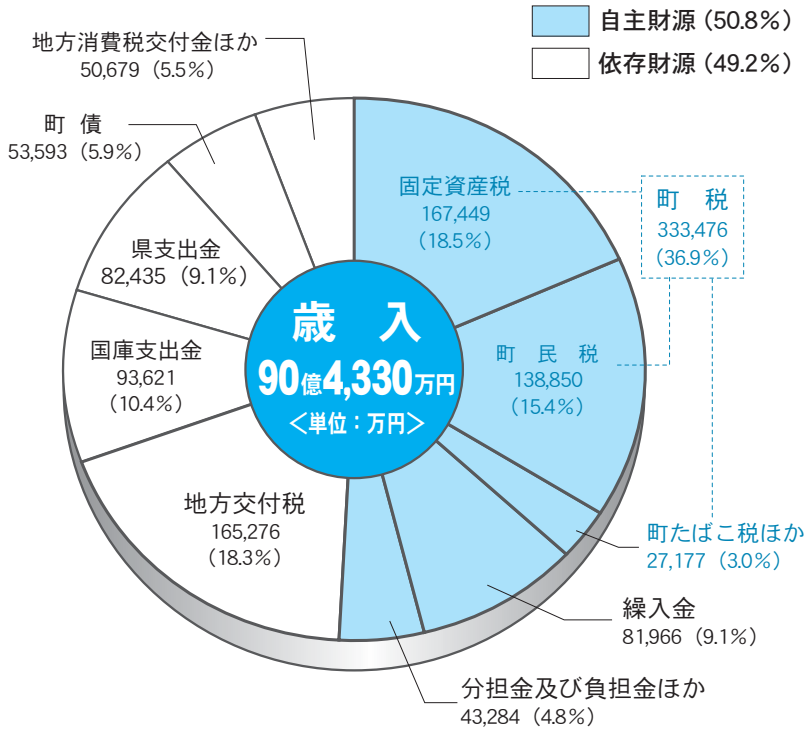
- ▶ 公共施設等総合管理事業…… 3,623
- ▶ コミュニティ推進事業…… 1,137
- ▶ 県知事、県議会議員選挙費…… 497
- ▶ 町長、町議会議員選挙費…… 1,019
- ▶ 国勢調査事業…… 1,215
- ▶ 合併60周年記念事業…… 258

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行おうかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。

一般会計予算

平成27年度の一般会計当初予算は、第6次矢巾町総合計画後期基本計画の最終年度にあたることや、各種事業の継続性や緊急性費用対効果などを検討し、前年度に対して約1億950万円減額の90億4330万円となりました。

町に入るお金(歳入)について、自主財源である町税は、固定資産税の伸びなどが期待されますが、全体では約77万円の減額となる見込みです。自主財源全体としては、前年比約3千万円減額となり、



*** 財 政 用 語 解 説 ***

■地方交付税＝町の財政力に応じて国から配分されるお金 ■町債＝大きな事業を行うときに借りるお金 ■国庫・県支出金＝事業に対し国や県から交付される補助金など ■繰入金＝積立てした基金を取り崩したお金 ■総務費＝全般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など ■民生費＝高齢者や障がい者、児童などの社会福祉のための経費 ■公債費＝事業を行うために借りたお金の返済金 ■自主財源＝町税や繰入金など町が独自に調達できるお金 ■依存財源＝国や県から交付されるお金や割り当てられる収入

総務費



38,562 円

土木費



40,494 円

公債費



40,604 円

民生費



105,782 円

一般会計予算を
町民一人当たり
でみると・・・

335,446 円

平成27年3月1日
現在の人口 26,959 人

主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

衛生費

- ▶成人検診事業…………… 4,275
- ▶母子保健事業…………… 2,984
- ▶不妊治療費助成事業…………… 230
- ▶予防接種事業…………… 5,505
- ▶ごみ処理場運営事業…………… 4億 1,378
- ▶し尿処理施設整備事業…………… 1,104
- ▶駅前複合施設再生可能
エネルギー導入事業…………… 5,917

教育費

- ▶小学校維持管理事業…………… 5,503
- ▶小学校教育振興事業…………… 4,356
- ▶中学校維持管理事業…………… 3,310
- ▶中学校教育振興事業…………… 2,700
- ▶町公民館図書室移転事業…………… 3,740
- ▶田園ホール運営事業…………… 5,515
- ▶岩手国体開催準備事業…………… 248
- ▶町民総合体育館耐震化事業…………… 5,997
- ▶町民総合体育館再生可能
エネルギー導入事業…………… 4,320
- ▶共同調理場運営事業…………… 4,033

農林水産業費

- ▶経営構造対策事業…………… 1,626
- ▶農業生産振興対策事業…………… 2,939
- ▶農地・水・環境
保全向上対策事業…………… 1億 5,480
- ▶かんがい整備事業…………… 8,319
- ▶農業体質強化基盤整備促進事業…………… 7,600

消防費

- ▶常備消防事業…………… 2億 2,636
- ▶非常備消防事業(消防団など)…………… 3,739
- ▶消防自動車更新事業…………… 2,036
- ▶河川監視
無線防災システム整備事業…………… 2,118

商工費

- ▶商工業振興事業…………… 1,562
- ▶中小企業振興資金貸付事業…………… 730
- ▶企業誘致推進事業…………… 188

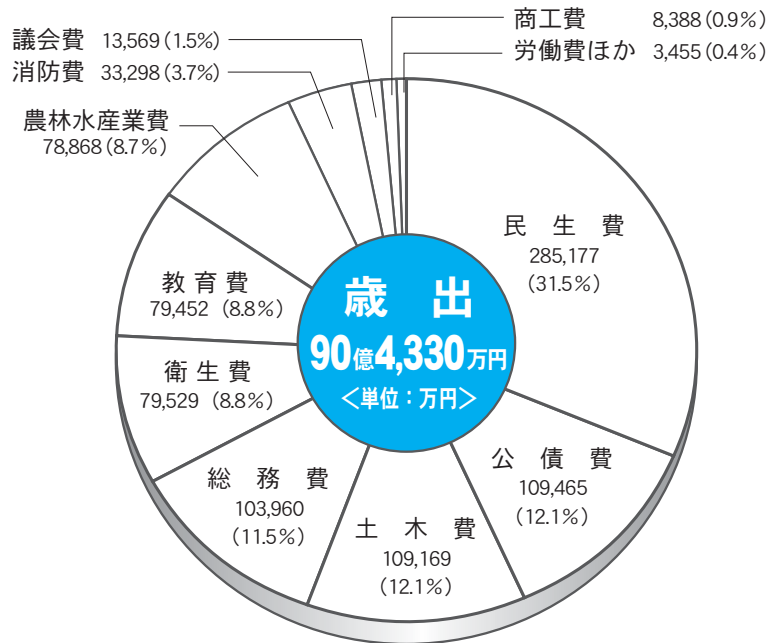
労働費

- ▶就労者支援事業…………… 127
- ▶融資貸付制度事業…………… 1,800

■特別会計・企業会計予算

特別会計は、国民健康保険事業など4特別会計で、総額約58億3千万円となりました。駅前地区の整備事業を行う矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計は、前年比68・4%減額の約7億6千万円となつていきます。また、企業会計である上・下水道事業会計は、総額で約36億円となつていきます。

全体に占める自主財源の割合は50・8%となりました。依存財源では、国庫支出金や町債が、災害復旧事業の減少により減額となり、全体で約5千万円減額となりました。お金の使い道(歳出)では、庁舎冷房設備等工事、消防自動車更新事業、河川監視システム整備事業、町民総合体育館耐震化事業、町公民館図書室移転事業など新規増額となつていきます。



平成 27 年度特別会計・企業会計の予算 単位：万円(千円を四捨五入)

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	303,480	水道事業	収益的支出 53,161
介護保険事業	186,509		資本的支出 63,948
後期高齢者医療	17,220	下水道事業	収益的支出 106,498
矢幅駅周辺土地区画整理事業	76,251		資本的支出 143,215

消防費ほか



21,777 円

農林水産業費



29,255 円

教育費



29,472 円

衛生費



29,500 円